

まちの文化財・史跡を歩く 其ノ十二

■ 因幡二十士と、瑠璃光山泉龍寺

因幡二十士とは、幕末に尊皇攘夷をかかげて働いた、鳥取藩の20人の武士のことです。

1863（文久3）年、彼らは、京都本圀寺で鳥取藩主池田慶徳の側近を暗殺するという、いわゆる本圀寺事件を起こします。翌年、長州藩は、禁門の変（蛤御門の変）の際、二十士の中に長州藩武士の一部と深い結びつきを持った者がいるとして、彼らを黒坂の地で謹慎させることにしました。黒坂での生活は1年にも満たないものでしたが、彼らが暮らした泉龍寺には、日用品や書、木刀や防具などが今も残っているほか、黒坂の人々とのふれあいが深かったことを示す、さまざまな逸話もあります。

二十士のひとり、詫間樊六は、全国に知られた剣の達人。長い刀が地面に触れるのを防ぐため、さやの先に小さな車輪をつけ、ころころと引きながら歩いていたそうです。その後、二十士は鳥取に送られ、後に脱出しますが、出雲の手結浦で、詫間ほか4人は命を落とします。

明治維新となり、生き残った何人かは新政府のもとで活躍します。二十士の代表であった河田佐久馬は、鳥取県権令（事実上最初の知事）となりました。

泉龍寺に残された二十士の遺品は、町指定の有形文化財となっています。（参考Ⅱ「わたしたちのまち 日野町（歴史編）」）

【お願い】まちの財産、文化財を守りましょう

日野町には、国の重要文化財である長楽寺の仏像をはじめとする10件の指定文化財や各種史跡、景観・名勝などが多くあります。史跡や文化財について、樹木の伐採や工事など、保存について影響を及ぼす行為をするときは、現状変更の届出が必要となる場合があります。詳しくは、町文化センター（電話72・1300）までお問合せください。

～こんにちは、消費生活相談員です～

知って安心！消費生活のはなし



▶消費生活相談窓口直通ダイヤル（電話 72 - 0336）

訪問販売のクーリングオフ



教えて、相談員さん！

庭仕事をしていたところ、若い男性が門にやってきました。ふいに壊れている門が気になると話したら、丁寧な対応で見積もりをしてくれました。門の修理を含め、外塀の工事を契約。ちょうど年金の支給日も近いので、支払いの心づもりもしていました。

数日後、息子にこの話をしたところ、「信用できる業者か」と良い顔をしません。言われてみれば門の修理は数万円なのに、外塀は全体の修理で40万円もかかり、安い買い物ではありません。不安になりましたがどうしたらよいでしょう？



お答えします！

勧められると、ついその場の成り行きで言われるがままの契約をしてしまいがちです。工事は業者によって使う資材や技術が異なり、価格だけでよし悪しを決めることはできません。面倒ですが、2社から見積もりを取るのも良いでしょう。

また、訪問販売なら、契約書を受け取った日を含め、8日間以内にはがきを利用して契約解除の通知を出せば、理由を問わず工事を止めることができます。これを『クーリングオフ』といいます。あきらめないで役場の窓口にご相談してください。

クーリングオフは、コピーを取ってから証拠の残る形（簡易書留、特定記録など）の郵便で出しましょう。詳しいことは、役場消費生活相談窓口まで。

読んでみたらんかな〜

全盲で生まれた辻井伸行さんは、0歳の時から有名なピアニストの音色を聞き分け、2歳のときには、お母さんが歌うジングルベルの曲を聴いておもちゃのピアノで演奏したという天才ピアニストです。2009年、20歳の時、4年に一度アメリカで開かれるヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで優勝し一躍有名になりました。

審査員からは、「ノブユキ・ツジイの存在は奇跡だ。神業のような演奏で、心を癒してくれる力がある」「色の感覚にあふれ、とても澄んだ美しい音色である」「聴衆と音楽でコミュニケーションできる」などの賛辞が寄せられました。

なぜ、視覚障害を持って生まれた辻井さんが、豊かな色彩を表現し、聴衆とつながる演奏ができるようになったのでしょうか。作者のこうやまさんは、辻井さんが小さいときから取材を続け、その秘密をこの一冊の本に書き上げました。お母さん

「ピアノはともだち」

こうやま のりお 著

の大きな教育方針、お父さんへの反抗期、指揮者佐渡裕さんなど多くの先生や友達との出会い、さまざまな体験を通して成長していく姿が小中学生にも読めるように、分かりやすく書かれています。

図書館には、お母さん、辻井いつ子さんの書かれた手記「今の風、なに色？」やCDも3枚あります。今年出た自作集「神様のカルテ」が特におすすめです。（図書館 松田）

【辻井伸行さんのCD】

「マイ・フェイヴァリット・ショパン」

「感動のヴァンクライバーンコンクール・ライブ」

「神様のカルテ〜辻井伸行自作集〜」

※CDは、一度に1人2枚で、1週間借りれます。公民館、下榎集会所に届けることもできますので、お気軽に図書館までご連絡ください。

今月の子育ての知恵袋⑱

「親子のふれあい」から

題：誕生日

子どもが生まれたときのあの喜びは、今も忘れることはない。はえば立て、立てば歩めの親心で、次々と期待が大きくなっていく。時には、重荷になるほどの期待をかけて、子どもを苦しめることがあるので気をつけたい。子どもの成長を祝って、誕生日には家族そろって喜びを伝えてやりたい。アルバムなどに成長記録を残し、一人ひとりの子どもに宝物として残してやりたい。大事な存在として生まれてきてくれてありがたい気持ちを込めて。

日野町「子育ての知恵袋」より
平成24年3月 町教育委員会発行

(根雨 60代 女)

教育委員会からのお知らせ

平成24年第11回教育委員会を開催

11月5日に第11回の町教育委員会を開き、報告・協議事項や今後の予定を確認しました。

【第11回委員会】

【報告】

◆10月30日、保育所フツ素洗口液に消毒用アルコールが混入した事案について、その事後対応と再発防止について報告しました。

◆学校給食センター嘱託職員等の異動について報告しました。

◆10月20日開催した、第53回体力づくり日野町駅伝競走大会の結果について報告しました。

《参加者》小学生ミニマラソンの部 12人
駅伝の部 6チーム

【協議】

◆学校給食センターの運営について
調理・配送業務の民間委託について協議しました。

【次回の予定】

日時 12月4日（火）

午前9時30分から

場所 日野町役場第1会議室

※会議は公開しています。お出かけください。